

2011年4月8日

**パソナグループ 2011年5月期 第3四半期 決算概要**

- 売上高は 132,664 百万円（前年同期比△2.5%）
- 日本企業の海外シフトによりグローバル人材の需要が高まり、グローバルソーシング（海外人材サービス）が順調に推移。プレース&サーチ（人材紹介）も営業職、技術職の即戦力を中心に求人が増加し、回復基調
- エキスパートサービス（人材派遣）は新規受注が増加した一方、派遣職種の適正化推進が直接雇用や需要の抑制にもつながり、長期稼働者数は横ばいで推移。インソーシング（委託・請負）は官公庁・地方自治体等からの受注が増加
- アウトプレースメント（再就職支援）は、企業の雇用調整の一巡により新規受注が減少
- 販管費を大幅に削減するも、営業利益は 1,286 百万円、経常利益は 1,330 百万円と減益
- 四半期純損失は 334 百万円と、純損失ながらも前年同期より大幅に改善

**1. 第3四半期連結累計期間 業績**（2010年6月1日～2011年2月28日）

（百万円）

	2010年5月期	2011年5月期	増減	増減率
<b>売上高</b>	136,047	<b>132,664</b>	△3,382	△2.5%
売上総利益 （売上比）	26,751 19.7%	<b>24,555</b> <b>18.5%</b>	△2,196 △1.2pt	△8.2%
販売費及び一般管理費 （売上比）	24,557 18.1%	<b>23,268</b> <b>17.5%</b>	△1,288 △0.6pt	△5.2%
<b>営業利益</b> （売上比）	2,194 1.6%	<b>1,286</b> <b>1.0%</b>	△907 △0.6pt	△41.4%
<b>経常利益</b> （売上比）	2,402 1.8%	<b>1,330</b> <b>1.0%</b>	△1,071 △0.8pt	△44.6%
税金等調整前四半期純利益 （売上比）	2,256 1.7%	<b>900</b> <b>0.7%</b>	△1,355 △1.0pt	△60.1%
<b>四半期純損益</b> （売上比）	△1,404 —	<b>△334</b> —	1,069 —	—

**2. セグメント別業績**（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	営業利益
HRソリューション	131,786	3,271
エキスパートサービス（人材派遣）、 インソーシング（委託・請負）他	113,644	1,150
エキスパートサービス（人材派遣） インソーシング（委託・請負） HRコンサルティング	110,937	1,150
プレース&サーチ（人材紹介）	1,236	
グローバルソーシング（海外人材サービス）	1,471	
アウトプレースメント（再就職支援）	7,390	707
アウトソーシング	10,751	1,413
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	2,643	104
消去又は全社	△1,766	△2,088
合計	132,664	1,286

※当期からセグメント区分を変更したため、前年同期比は記載していません。

## ●業績概況

- 連結売上高は前年同期比△2.5%の132,664百万円
- 売上総利益は、アウトプレースメントの粗利率が低下し、グローバルソーシングの拡大で一部吸収したものの前年同期比△8.2%の24,555百万円
- 販管費は、引き続き業務効率化とコスト削減を進めたことにより前年同期比△1,288百万円(同△5.2%)の23,268百万円に抑制
- 連結営業利益は1,286百万円(前年同期比△41.4%)、連結経常利益は1,330百万円(前年同期比△44.6%)
- 会計基準の変更に伴って第1四半期に資産除去債務影響額480百万円を計上したが、税効果会計の影響が少なかったため、連結四半期純損失は334百万円(前年同期は四半期純損失1,404百万円)と前年同期より改善

## ●セグメント別業績 ※当期からマネジメント・アプローチに基づいてセグメント区分を変更したため前年同期比は記載しておりません

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 113,644 百万円、営業利益 1,150 百万円

#### [エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)、HRコンサルティング]

売上高 110,937 百万円

#### エキスパートサービス(人材派遣) ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… p.4

- メーカーやIT関連企業をはじめ多くの業界で新規受注が増加したが、派遣職種の適正化推進により直接雇用や需要の抑制が進み、長期稼働者数は横ばいで推移
- 職種別では、医療分野の育成型派遣の推進や、M&Aによる保険・金融等の専門職強化が奏功したことによりテクニカル分野は堅調に推移。営業・販売職にも回復が見られ、売上高は98,200百万円

#### インソーシング(委託・請負)

- 受付、事務センターやコールセンターなどの受託が増加したほか、官公庁・地方自治体等の案件も順調に推移し、売上高は11,205百万円に拡大

#### [プレース&サーチ(人材紹介)]

売上高 1,236 百万円

- 国内では、技術職や営業職の即戦力となる人材を中心に求人増加の動きが見られ、売上高は回復基調  
※海外の人材紹介は当期から「グローバルソーシング」に含む

#### [グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 1,471 百万円

- 日本企業の海外シフトが進むなか、中国や台湾などアジアを中心に現地社員の需要が活発化し、グローバル人材の求人が増加
- 人材派遣、給与計算等の業務や海外人事における周辺分野のアウトソーシング受託も拡大

当セグメントの利益は、インソーシングとグローバルソーシングの拡大により大幅に改善

#### アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 7,390 百万円、営業利益 707 百万円

- 企業の海外移転に伴う再就職支援需要等、着実に受注を獲得しシェアを拡大しているものの、需要が大幅に拡大した前期と比較すると受注の減少傾向が続き、加えて、前期に受け入れたサービス利用者の早期再就職決定を最優先し、コンサルタント数を維持した結果、原価が膨らむ

#### アウトソーシング

売上高 10,751 百万円、営業利益 1,413 百万円

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスのメニュー拡充に注力

#### ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 2,643 百万円、営業利益 104 百万円

- ライフソリューションの保育関連事業では、保育士の派遣や学童保育事業の受託が増加し、堅調に推移

### 3. 財政・投資の状況

#### ●財政の状況

(百万円)

	2010年5月期 期末	2011年5月期 3Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	34,986	40,548	5,561	15.9%	現金及び預金の増加 7,142 百万円等
固定資産	17,282	17,133	△149	△0.9%	
資産合計	52,269	57,681	5,412	10.4%	
流動負債	21,426	22,029	603	2.8%	派遣スタッフ給与支払を月2回から月1回に変更したことによる未払費用の増加 2,756 百万円、短期借入金の増加 953 百万円、長期借入金の増加 3,933 百万円等
固定負債	5,863	10,787	4,923	84.0%	
負債合計	27,289	32,816	5,526	20.3%	
純資産合計	24,979	24,865	△114	△0.5%	四半期純損失 334 百万円等
自己資本比率	39.6%	35.5%	△4.1pt		

#### ●キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高19,667百万円(前期末比7,343百万円増)

(百万円)

	2010年5月期 3Q累計	2011年5月期 3Q累計	増減	資金増減の主な内訳
営業活動によるCF	766	3,824	3,058	税引前四半期純利益 900 百万円、減価償却費 1,623 百万円、派遣スタッフ給与支払を月2回から月1回に変更したことによる営業債務の増加 2,260 百万円、法人税等の支払額 1,000 百万円等
投資活動によるCF	△128	△581	△452	投資有価証券の取得 779 百万円等
財務活動によるCF	△4,056	4,152	8,208	長期借入れによる収入 5,958 百万円、長期借入金の返済 1,024 百万円等
フリーCF	638	3,243	2,605	

### 4. 2011年5月期(2010年6月1日～2011年5月31日)連結業績予想

2011年5月期の通期連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに進捗したものの、第4四半期においては東日本大震災の影響が少なからず想定されます。

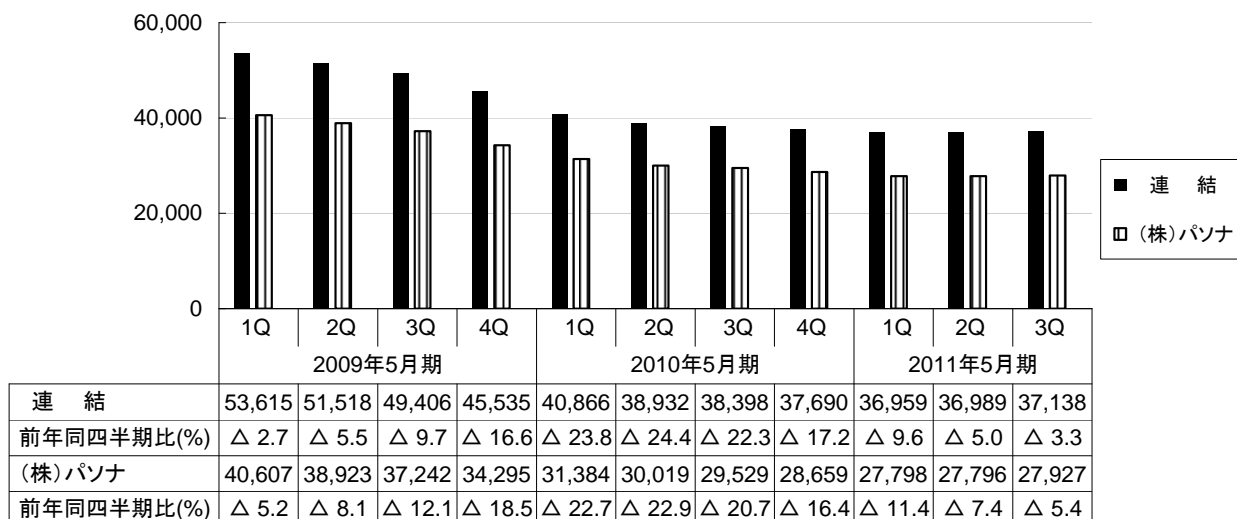
当社グループにおいては、拠点設備に重大な損害はなく、インフラ復旧等の状況を見ながら業務再開を進めています。しかしながら今後の日本経済については、地震による被害のみならず、電力等の供給不足や消費者心理の悪化、円相場の動向など、様々な要因によって先行きの不透明感が強まっており、人材需要の予測がきわめて困難になっています。ついては、影響を引き続き精査したうえで、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示することとし、現時点では2010年7月20日に発表した見通しを据え置くこととします。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期連結業績予想	186,000	2,800	2,900	500
前 期 比	1.4%	△23.5%	△28.3%	144.0%

## 5. 参考データ

### ●派遣長期稼働者数(1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均) 単位:人



### ●エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負) 職種別連結売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	(参考)※ 2010年5月期 3Q 累計	2011年5月期 3Q 累計		前年同期比	
		売上高	構成比	増減	増減率
クラリカル	61,554	55,236	50.3%	△6,318	△10.3%
テクニカル	19,500	20,000	18.2%	500	2.6%
ITエンジニアリング	13,290	11,964	10.9%	△1,326	△10.0%
営業・販売職	5,855	6,355	5.8%	500	8.5%
その他エキスパートサービス	4,811	4,885	4.5%	74	1.5%
インソーシング	8,915	11,352	10.3%	2,437	27.3%
合計	113,927	109,794	100.0%	△4,133	△3.6%

※セグメント区分変更のため、前年同期分を変更後のセグメントに組み替えて比較しています。

### ●四半期業績

(百万円)

	2010年5月期				2011年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	47,161	44,908	43,977	47,468	44,574	44,419	43,669	-
前年同四半期比	△20.2%	△21.1%	△16.3%	△5.2%	△5.5%	△1.1%	△0.7%	-
売上原価	38,326	36,053	34,915	37,489	36,432	36,388	35,288	-
前年同四半期比	△19.1%	△20.8%	△16.8%	△6.9%	△4.9%	0.9%	1.1%	-
売上総利益	8,834	8,855	9,062	9,979	8,142	8,031	8,381	-
前年同四半期比	△24.9%	△22.6%	△14.1%	1.5%	△7.8%	△9.3%	△7.5%	-
販売費及び一般管理費	8,968	7,815	7,772	8,513	7,831	7,811	7,630	-
前年同四半期比	△17.7%	△26.9%	△22.2%	△6.9%	△12.7%	△0.1%	△1.8%	-
営業損益	△134	1,039	1,289	1,465	310	220	750	-
前年同四半期比	-	40.7%	127.0%	114.4%	-	△78.8%	△41.8%	-
経常損益	△119	1,052	1,469	1,641	319	258	747	-
前年同四半期比	-	17.6%	178.2%	59.5%	-	△75.4%	△49.1%	-
税金等調整前四半期純損益	△155	1,032	1,379	1,576	△134	247	788	-
前年同期四半比	-	69.0%	11,497.9%	24.0%	-	△76.1%	△42.8%	-
四半期純損益	△1,102	△594	292	1,608	△471	△77	214	-
前年同四半期比	-	-	-	74.9%	-	-	△26.8%	-

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。